

亶理町立郷土資料館年報

第19号
(平成28年度)



悠里館全景

亶理町立郷土資料館

宮城県亶理郡亶理町字西郷 140 番地
電話 0223(34)8701 FAX 0223(34)8709
E-mail kyoudo@towm.watari.miyagi.jp

はじめに

平成6年10月に開館した亘理町立郷土資料館は、平成28年度で22周年を迎えました。

亘理町に甚大な被害をもたらした東日本大震災から6年が経過し、防災公園が整備され、また、3月には応急仮設住宅の供与期間が終了するなど、復興が進んでいるのが目に見えて感じられます。来館される方々も観光や学習を目的とする方が、徐々に増えてきました。当館では、震災の記憶を後世へと伝えていくために、常設展示室の一面を利用して震災の被害を記録した写真パネルを展示しています。

28年度は、新たな試みとしてゴールデンウィーク期間中の祝日すべてを開館いたしました。それまでは、5月5日のこどもの日のみの開館でしたが、連休を利用して町外からお越しになるお客様にも利用しやすくなりました。

展示事業は、9月から11月まで、東日本大震災によって被災し、救出・修復してきた「江戸清吉コレクション」の企画展を行いました。著名な作家たちの資料を作家や、資料の分類ごとに展示し、震災後のレスキュー状況と合わせて見られる内容としました。2月から3月にかけては、テーマ展「桃の節供と雛」を開催し、亘理伊達家古今雛を含む多数の雛人形と展示室のいたるところにつるし雛を展示しました。わたり温泉鳥の海への出張展示も行いました。とても華やかな展示で、多くの方々に春の訪れを感じていただけたと思います。

教育普及事業では、ゴールデンウィーク期間の開館日の増加に伴い「G・G・悠里館まつり」の規模を縮小し、マジックショーのみの開催としました。また、例年年度末の開催としていた郷土資料館町民講座「ものしり大学院」を、企画展に合わせて10月に開催し、2名の講師から「江戸清吉コレクション」について講話をしていただきました。毎年多くの申し込みをいただいている夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」や年中行事講座「おひなさまを作ろう」も好評でした。

郷土資料館では、亘理町の歴史や受け継がれてきた人々の暮らしぶりを後世に伝えるため、なお一層、資料の収集や調査・研究を重ねていきたいと思っております。また、その成果をより多くの方々に伝えるための展示や教育普及事業に真摯に取り組んでいきたいと考えております。どうか今後とも、より一層のご指導とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、平成28年度の事業を実施するにあたり、多大なるご協力を賜りました方々及び関係機関の皆様にご心から厚くお礼申し上げます。

平成29年8月

亘理町立郷土資料館
館長 齋藤 伸

目 次

1	平成28年度の主な事業と活動	3
2	組織・運営	
	〔1〕 組織図・職員構成	4
	〔2〕 事務分掌	4
3	展示	
	〔1〕 常設展示	5
	〔2〕 企画展示	5
	〔3〕 テーマ展示	6
	〔4〕 収蔵資料展示	8
	〔5〕 ミニ展示	8
4	無料開放事業	
	〔1〕 「どこでもパスポート」事業	9
	〔2〕 常設展示室無料開放	12
5	教育・普及	
	〔1〕 講座等	13
	〔2〕 学社融合推進事業	15
	〔3〕 ゴールデンウィーク特別開館事業	17
	〔4〕 オープンミュージアム	17
	〔5〕 学校教育関連	18
	〔6〕 刊行物等	19
	〔7〕 博物館実習	19
	〔8〕 その他	20
6	資料の収集・保管	
	〔1〕 収蔵資料	21
	〔2〕 寄託資料	22
	〔3〕 常設展示借用資料	22
	〔4〕 資料貸出	22
7	観覧者数の推移	
	〔1〕 平成28年度月別観覧者数	23
	〔2〕 年度別観覧者数	23
8	予算	24
9	職員名簿	24
10	利用案内	24

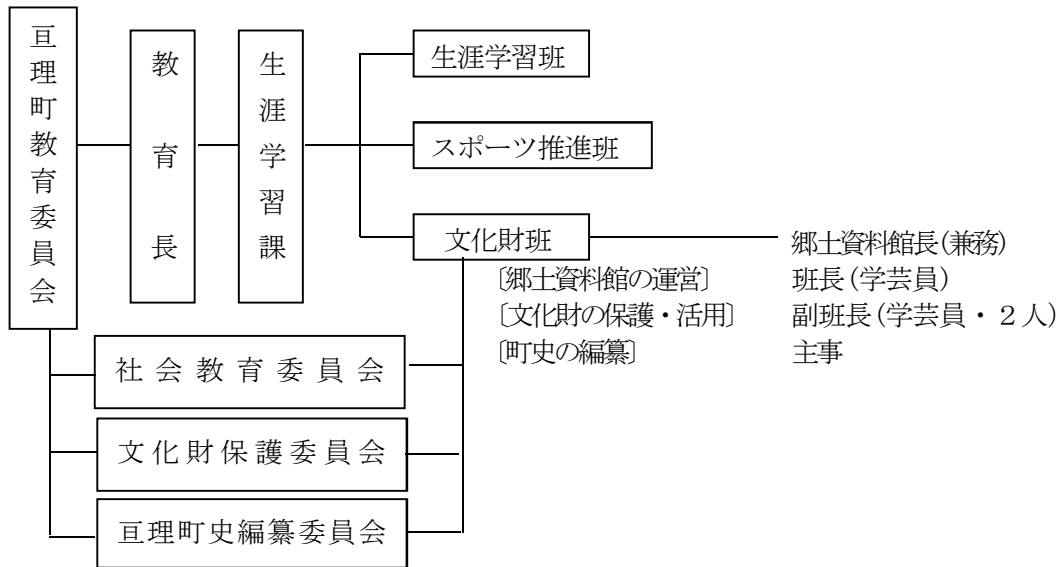
1 平成28年度の主な事業と活動

- 28.4 広報紙「郷土しりょうかん」第128号発行
4/29～5/5 ゴールデンウィーク特別開館事業
4/29～6/26 第19回収蔵資料展
5/24 宮城県南資料館等連絡協議会総会(村田町)
6 広報紙「郷土しりょうかん」第129号発行
6/25 宮城県博物館等連絡協議会役員会・総会・第1回研修会(多賀城市)
7/21～8/23 ミニ展示「亙理伊達家の資料」
7/21～8/23 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「ちょこっと体験」
8 広報紙「郷土しりょうかん」第130号発行
8/16 伊達成実霊屋御開帳記念無料観覧日
8/18～25 博物館実務実習
8/20 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」
9/8 宮城県南資料館等連絡協議会 第1回役員会(亙理町)
9/17～11/27 企画展「江戸清吉コレクション～近代文学・美術作品の宝蔵～」
10 広報紙「郷土しりょうかん」第131号発行
10/13 学社融合推進事業「亙理用水学習会」学芸員派遣(逢隈小学校)
10/22 郷土資料館町民講座「ものしり大学院～江戸清吉コレクションの世界～」
10/27 学社融合推進事業「亙理用水学習会」資料貸出と学芸員派遣(亙理小学校)
11/3 文化の日記念オープンミュージアム
11/10 宮城県南資料館等連絡協議会 担当者研修会(亙理町)
12 広報紙「郷土しりょうかん」第132号発行
29.1/26 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(逢隈小学校)
2 広報紙「郷土しりょうかん」第133号発行
2/3 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(亙理小学校)
2/8 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(長瀬小学校)
2/9 学社融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(吉田小学校)
2/10 学舎融合推進事業「移動しりょうかん～昔の道具とくらし～」(高屋小学校)
2/18～3/19 テーマ展「桃の節供と雛」
2/23 宮城県南資料館等連絡協議会第2回役員会(亙理町)
2/25 年中行事講座「おひなさまを作ろう」
3/3 ひなまつり記念無料開館日

2 組織・運営

〔1〕 組織図・職員構成

平成28年4月1日現在

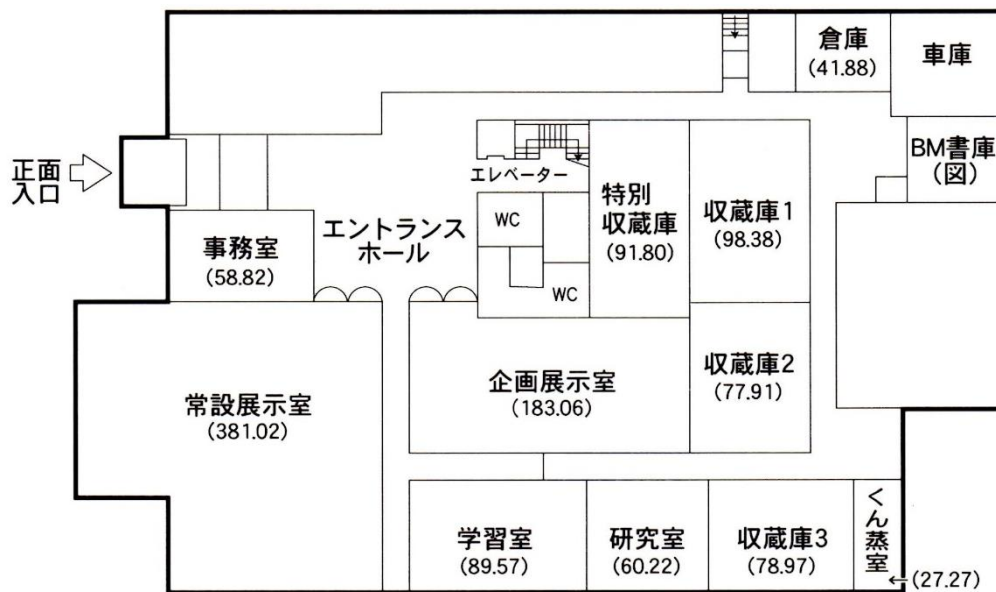


〔2〕 事務分掌

文化財班(郷土資料館)

………管理運営・公印管理・文書の收受発送・整理保存・会計事務・その他の庶務・資料の収集・調査研究・保存・展示・普及活動の実施・展覧会の企画運営

資料館平面図



※ () 内は面積、単位は㎡

3 展 示

〔1〕 常設展示

1. 亙理獅子舞公開

期 間 平成28年11月3日(木・文化の日)
会 場 常設展示室 入口前ガラスケース
資 料 町指定無形民俗文化財の亙理獅子舞の獅子頭を
展 示 した。
由 来 亙理獅子舞は、江戸時代の慶長年間(1596～

1615)に、初代亙理領主伊達成実夫人の岩城御前(須賀川城主二階堂氏出自)が、輿入れの際に須賀川(現福島県須賀川市)領内に伝わる3匹獅子舞を亙理に伝えたのが始まりとされる。

一般的な3匹獅子舞の形態は雄獅子2頭に雌獅子1頭であるが、亙理獅子舞は夫婦獅子と子獅子の組合せとなっているのが特徴的である。正月の厄祓いや豊作の予祝、神社の祭りのほか領主の墓前でも踊られてきたが一時衰退し、昭和37年(1962)に復活した。その後、舘南地区の有志が亙理獅子舞保存会を結成して伝承し、昭和62年(1987)に亙理町の指定無形民俗文化財となった。

現在は、後継者不足により保存会の活動が休止しているため、舘南上区より獅子舞の道具類が郷土資料館に寄贈されたことから今回特別に展示した。



▲亙理獅子舞公開の様子

〔2〕 企画展示

企画展「江戸清吉コレクション～近代文学・美術作品の宝蔵～」

期 間 平成28年9月17日(土)～11月27日(日)
開館日数 59日
会 場 企画展示室
観覧者数 1,077人 1日平均19人
観 覧 料 一般：200円(常設展示観覧者は半額)
高校生以下：無料

【趣 旨】

荒浜江戸家の四代江戸清吉氏が生前に収集した著名人たちの作品群のことを、「江戸清吉コレクション」と呼んでいる。中身は明治から昭和にかけて活躍した作家、芸術家、思想家、政治家、学者などの原稿、手紙・はがき、絵画など多岐にわたり、全国に名の知られた著名人の作品が多いのが特徴である。また、現在、再評価されてきている人物の作品もあり、貴重な資料となっている。コレクションは、清吉氏の死後、蔵に保管されてきたが、宮城県沖地震(1978年)後の調査で発見されて話題となり、その後、東日本大震災(2011年)で多くが被災したものの、文化財レスキュー活動によって救い出され、郷土資料館で保管している。

震災から5年が経過し、整理作業が進み、概要が明らかになったことから、コレクションの中でも特に貴重な資料を公開し、資料への関心を促すとともに、資料の貴重さを広く認識してもらう機会とした。



▲夏目漱石コーナー

【展示内容】

◎江戸家の資料レスキュー

東日本大震災により被災した資料を救出した文化財レスキューの一部始終と当館に保管されるまでの経緯について、写真パネルと資料で振り返った。

展示物…概説パネル、写真パネル、水損の激しい資料

◎原稿

江戸清吉コレクションの中から、小説や随筆などの原稿資料を展示し、作家たちの筆遣いを見てもらうとともに、コレクションの特徴について紹介した。

展示物…概説パネル、原稿資料(芥川龍之介、齋藤茂吉、川端康成、島崎藤村ほか)



▲竹久夢二コーナー

◎代表作家

江戸清吉コレクションの中でも数多く収集されている日本を代表する作家の資料を、それぞれ作家ごとに展示した。

展示物…概説パネル、夏目漱石関連資料、小川千甕関連資料、大野麥風関連資料、竹久夢二関連資料、坪内逍遙関連資料、中村進治郎関連資料

◎書簡・はがき

江戸清吉コレクションの中から書簡・はがき類を展示し、その内容について紹介した。

展示物…概説パネル、書簡・はがき資料(芥川龍之介、石川啄木、与謝野晶子ほか)



▲大野麥風画・中村不折ほか賛屏風

◎掛軸類

江戸清吉コレクションの中から書画を中心とした掛軸や巻物を展示した。

展示物…概説パネル、掛軸・扁額資料(正岡子規、与謝野晶子ほか)

◎書籍

清吉氏が収集していた約2,000点の書籍の中から著名な作家のものを中心に展示した。

展示物…概説パネル、書籍資料(尾崎紅葉、宮武外骨ほか)

◎江戸清吉宛ての手紙と日記

著名人から清吉氏に宛てた手紙と作品を手に入れるまでの過程や、作品への感想が書かれた日記を展示した。

展示物…概説パネル、日記帳、手紙資料(齋藤茂吉、会津八一ほか)

[3] テーマ展示

テーマ展「桃の節供と雛」

期 間 平成29年2月18日(土)～3月19日(日)

開催日数 25日

会 場 企画展示室、わたり温泉鳥の海

観覧者数 775人

観覧料 常設展示観覧料

障害者手帳提示者：障害者本人、付き添い者1名半額

【趣 旨】

平成14年に伊達成実の亙理入府400年を記念して寄贈された亙理伊達家の雛人形をはじめ、大正や昭和初期の段飾り、御殿飾りのほか、変わり雛を含めた収蔵中の資料を公開した。「ひなまつり」として知られる年中行事が「桃の節供」といわれる由縁と雛人形の歴史を知るとともに、亙理で、時代を超え震災を免れて受け継がれてきた人形をとおして、そこに込められた人々の思いにふれる機会とした。

【展示内容】

◎コーナー1 雛人形の始まり

平安時代まで遡り、雛人形の起源について写真パネルや実物資料をもとに考える内容とした。

展示資料 … 写真パネル

◎コーナー2 雛人形の移りかわり

男女一對の雛人形が登場した江戸時代の初めから現在に至るまでの雛人形の移りかわりを写真パネルと概説パネルで振り返った。

展示資料 … 概説パネル、写真パネル

◎コーナー3 雛人形の飾り方

雛人形の飾り方について、江戸時代の前期から現在までの時代ごとの変化や地域による違いを写真パネルと概説パネルで解説した。

展示資料 … 概説パネル、写真パネル

◎コーナー4-① 時代雛 — 亙理ゆかりの雛人形 —

亙理伊達家古今雛や町民の方から寄贈された段飾りなど、当館に収蔵されている亙理町ゆかりの雛人形と借用した雛人形を一括展示した。

展示資料 … 亙理伊達家古今雛、山形家享保雛、清野家段飾りほか

◎コーナー4-② 時代雛 — 震災から救われた雛人形 —

東日本大震災後に行われた文化財レスキューで救出された雛人形を展示した。

展示資料 … 武者家段飾り、明治節御雛人形ほか

◎コーナー5 変わり雛

つるし雛や貝雛など、一般的な雛人形とは様式が異なる変わり雛について紹介した。

展示資料 … 貝雛、つるし雛ほか

◎わたり温泉鳥の海出張展示

わたり温泉鳥の海の1階ロビーに、雛人形を展示した。

展示資料…昭和後期の7段飾り



▲震災から救われた雛人形



▲変わり雛



▲わたり温泉鳥の海出張展示

[4] 収蔵資料展示

「第19回収蔵資料展」

期 間 平成28年4月29日(金・祝)～6月26日(日)

開館日数 49日

場 所 企画展示室

観覧者数 966人

観覧料 常設展示観覧料



▲化石コーナー

【趣 旨】

郷土資料館開館以前から教育委員会で収集していた郷土資料に加え、開館以後も継続して資料収集を行っているため収蔵資料は充実してきている。これに伴い、亘理の歴史や文化を考える上で重要な資料でありながら、展示テーマや展示スペースの制限上、公開される機会のない資料が増加したため、これらを平成8年度から年度ごとに順次展示公開することとした。

【展示内容】

平成24、25年度に寄贈を受けた資料を分類項目ごとに展示した。総展示数は216点。

項 目	点 数	項 目	点 数	項 目	点 数
衣・食・住	30	生産・生業	14	交通・運輸・通信	8
信仰	4	民俗知識	68	競技・娯楽・遊戯	1
文書・書籍・地図	22	人形類	4	刀	12
化石	53				

[5] ミニ展示

「亘理伊達家の資料」

期 間 平成28年7月21日(木)～8月23日(火)

開館日数 27日

場 所 企画展示室

観覧者数 536人

観覧料 常設展示観覧料



▲亘理伊達家当主と政宗の資料

【趣 旨】

当館では、「亘理伊達家の資料」を重点的に収集している。開館当時は、収集した資料は企画展示室に常時展示していたが、平成15年度以降は、資料の保存状態を考慮し、期間を定めて展示を行っている。

28年度は、「亘理伊達家の資料」を6つのコーナーに分けて展示した。

【展示内容】

◎「亘理伊達家の北海道移住に関わる資料」コーナー

明治時代に行われた亘理伊達家の北海道移住に係る資料を展示した。

展示資料…伊達邦成肖像、小野潭画「伊達開拓歴史画」ほか

◎「亘理伊達家当主と政宗の資料」コーナー

仙台藩主伊達政宗と亘理伊達家歴代当主の関係性についての資料を展示した。

展示資料…伊達政宗書状、伊達実元書状ほか

- ◎「亙理伊達家の武具類」コーナー
亙理伊達家および家臣が使用した武具類を鉄砲、刀剣、甲冑などの種類ごとに展示した。
展示資料…火縄銃、黒漆塗縦矧五枚胴具足ほか
- ◎「亙理伊達家の衣食住に関する資料」コーナー
14代当主伊達邦成の義母である貞操院(仙台藩主伊達慶邦の妹)に関連した資料や亙理伊達家の調度品などを展示した。
展示品…橘文様夜着、食器類、三引両紋道中湯沸ほか
- ◎「亙理伊達家家臣たちの資料」コーナー
亙理伊達家の家臣に関する資料や古文書を展示した。
展示資料…御黒印ほか
- ◎「戊辰戦争と亙理」コーナー
実物資料と概説パネルを展示し、戊辰戦争と亙理伊達家について解説した。
展示資料…概説パネル、仙台藩戊辰史ほか

4 無料開放事業

〔1〕 「どこでもパスポート」事業

平成14年4月から開始された学校週5日制の完全実施に伴い、仙台都市圏を構成する14市町村立の社会教育施設を、仙台都市圏内の小中学生に無料開放する「どこでもパスポート」事業が始まった。当館も対象施設として、これまで町内の小中学生を対象に第2・第4土曜日に実施していた展示室の無料解放を、毎週土・日曜日、春休み・夏休み・冬休みの長期休業日期間中に変更した。平成18年度からは「どこでもパスポート」実施要綱の改正に伴い、どこでもパスポートの利用対象日を開館日の全てに変更した。

加えて、どこでもパスポート事業開始後、仙台都市圏外の地域でも同様の事業が開始され、平成15年度からは仙南地域広域圏内、16年度からは石巻広域圏内、大崎広域圏内、登米広域圏内(現登米市圏)、17年度からは気仙沼・本吉地域広域圏、18年度からは栗原市圏の小中学生に対しても同様に展示室の無料開放を開始した。同時に仙台都市圏内の小中学生も「どこでもパスポート」を提示することで、仙南地域・石巻・大崎広域圏内、登米市圏、気仙沼・本吉地域広域圏、栗原市圏の指定施設を無料で利用できるようになった。

◆仙台都市圏14市町村

仙台市・塩竈市・名取市・多賀城市・岩沼市・富谷市・亙理町・山元町・松島町・七ヶ浜町・利府町・大和町・大郷町・大衡村

◆仙南地域広域圏9市町「AZ9パスポート」

白石市・角田市・蔵王町・七ヶ宿町・大河原町・村田町・柴田町・川崎町・丸森町

◆石巻広域圏3市町「ゆうゆうパスポート」

石巻市・東松島市・女川町

◆大崎広域圏5市町「大崎ゆめっこパスポート」

大崎市・色麻町・加美町・涌谷町・美里町

◆登米市「とめジュニアパスポート」

◆気仙沼・本吉地域広域圏4市町「フリーパスポート」

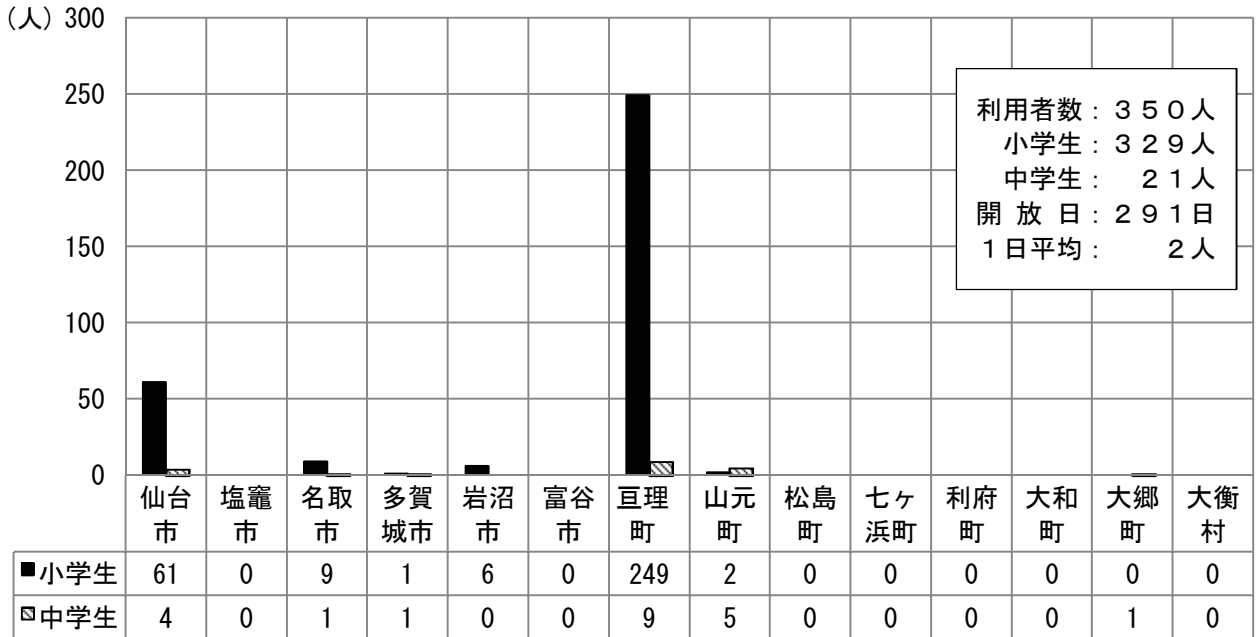
気仙沼市・南三陸町・本吉町・唐桑町

◆栗原市「くりはらグリーンパスポート」

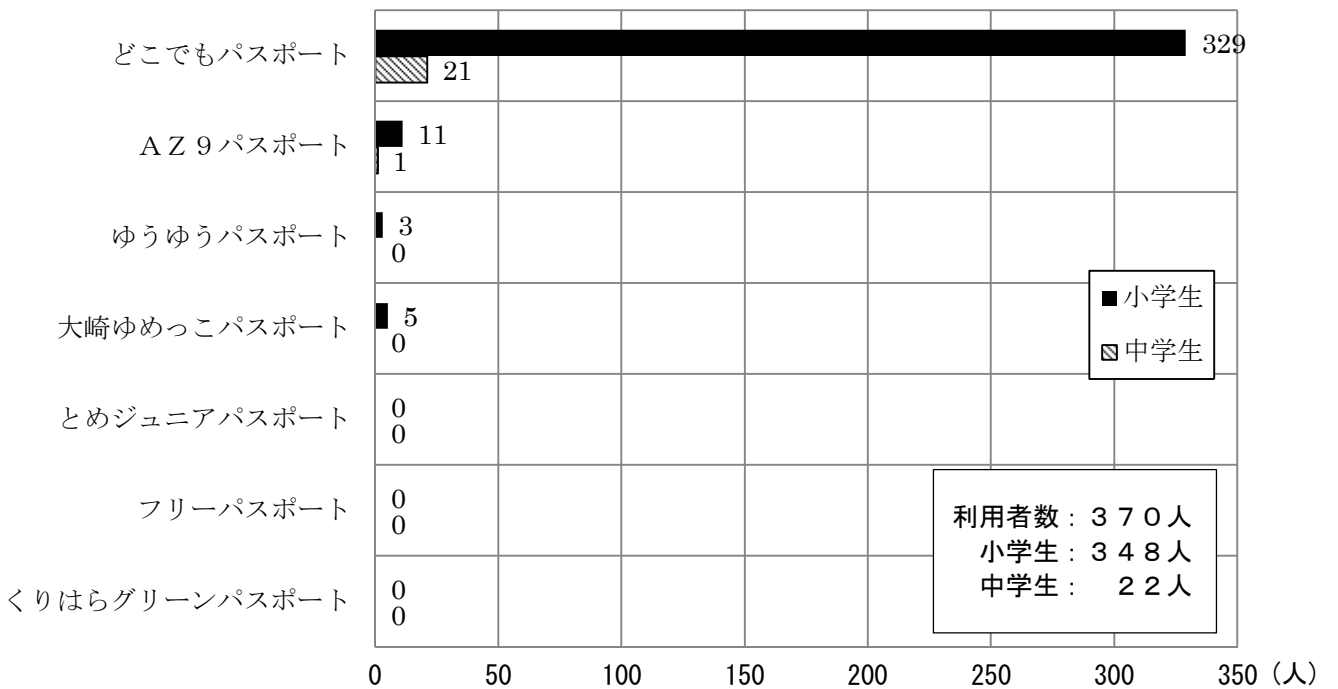
仙台都市圏等小中学生対象施設

市町村名	施設名	市町村名	施設名
仙台市	博物館、科学館、天文台、縄文の森広場、歴史民俗資料館、富沢遺跡保存館、八木山動物公園、野草園、秋保大滝植物園、仙台文学館、戦災復興記念館資料展示室、東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館、宮城県美術館、東北大学理学部自然史標本館、東北大学植物園	亘理町	郷土資料館
		山元町	歴史民俗資料館
		松島町	観瀾亭松島博物館、自然植物園福浦島
		大和町	原阿佐緒記念館、宮床宝蔵、セツ森陶芸体験館
		大衡村	ふるさと美術館
		角田市	スペースタワー・コスモハウス
白石市	白石城、白石城歴史探訪ミュージアム、片倉家中武家屋敷「旧小関家」	七ヶ宿町	水と歴史の館
		村田町	野外活動センター
蔵王町	みやぎ蔵王こけし館、宮城県蔵王野鳥の森自然観察センター	登米市	教育資料館、登米懐古館、水沢県庁記念館、警察資料館、伝統芸能伝承館森舞台、不老仙館(登米市民俗資料館)、石ノ森章太郎ふるさと記念館、チャチャワールドいしこし、高倉勝子美術館「桜小路」
丸森町	蔵の郷土館・齋理屋敷		
石巻市	石ノ森萬画館、国指定名勝「齋藤氏庭園」、民俗資料館・天保の家		
東松島市	奥松島縄文村歴史資料館		
大崎市	吉野作造記念館、大崎生涯学習センタープラネタリウム館、松山ふるさと歴史館、松山酒ミュージアム、鎌田記念ホール(鎌田三之助展示室)	気仙沼市	リアス・アーク美術館
		南三陸町	ひころの里
加美町	宗左近記念縄文芸術館、芹沢長介記念東北陶磁文化館、墨雪墨絵美術館、切込焼記念館	栗原市	白鳥省吾記念館、山王考古館、一迫埋蔵文化財センター、細倉鉦山資料館、金成歴史民俗資料館、仙台藩花山村寒湯番所跡、剣豪・千葉周作ゆかりの家狐雲屋敷(旧佐藤家住宅)
涌谷町	史料館、くがね創庫		

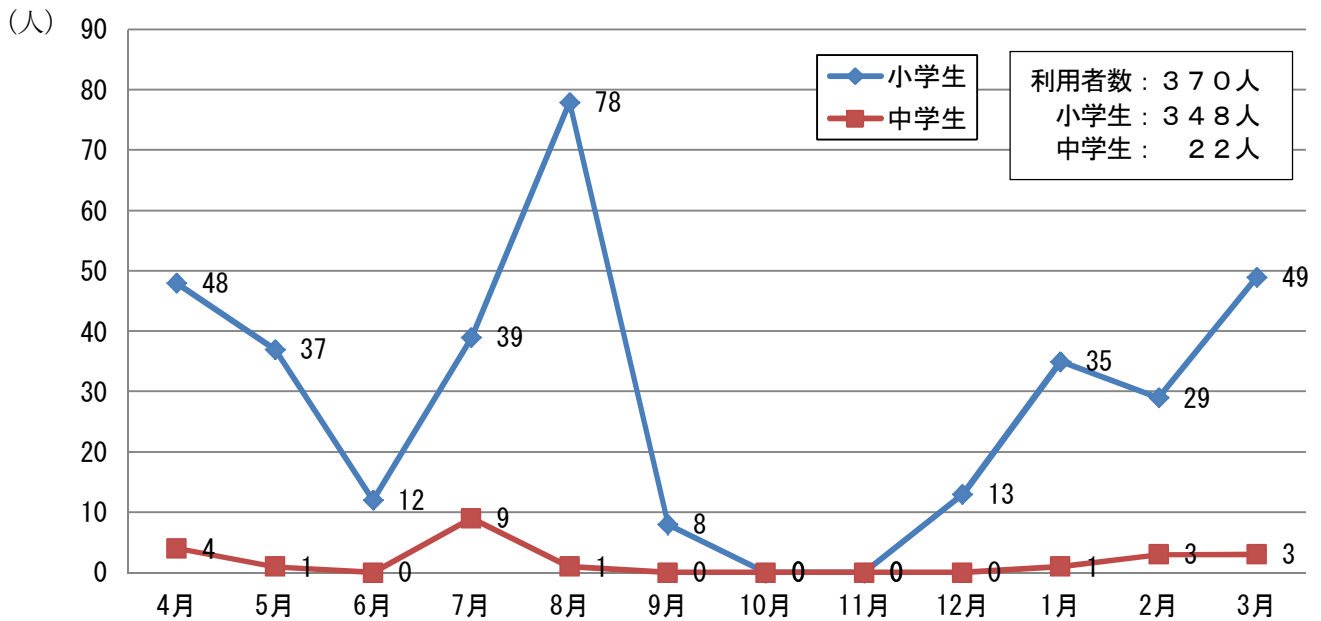
「どこでもパスポート」市町村別利用者数



パスポート別利用者数



「どこでもパスポート」ほか各種パスポート月別利用者数



〔2〕 常設展示室無料開放

亙理の歴史や文化などについて広く普及を図るため、平成9年度からこどもの日(5月5日)と文化の日(11月3日)に展示室を終日無料開放しており、加えて平成24年度からは3月3日のひなまつり、平成26年度からは伊達成実霊屋御開帳日(8月16日、1月16日)にも無料開放している。

1. こどもの日(5月5日)

春の大型連休期間を利用し、郷土資料館により親しんでもらうために開催した「ゴールデンウィーク特別開館」事業の一環として、観覧料を無料とした。

観覧者数：112人(一般73人、小中学生39人)

2. 文化の日(11月3日)

亙理の歴史や文化の普及と、郷土資料館の利用促進のために開催した「オープンミュージアム」事業の一環として、観覧料を無料とした。

観覧者数：230人(一般182人、小中学生48人)



▲文化の日特別開館の様子

3. ひなまつり(3月3日)

平成14年に伊達成実公入府400年を記念して亙理伊達、仙台石川両家から寄贈された亙理伊達家の雛人形を、より多くの方々にその由来を知って観賞してもらうとともに、年中行事ひなまつりの意義の普及を図り、観覧料を無料とした。

観覧者数：119人(一般118人、小中学生1人)



▲ひなまつり無料開館日の様子

4. 伊達成実霊屋御開帳日(8月16日)

8月16日と1月16日の年に2回行っている、県指定文化財「伊達成実霊屋」の御開帳にあわせて、参拝者が互理伊達家や互理の歴史について理解を深めることができるよう、常設展示の観覧料を無料とした(28年度は1月16日が休館日のため8月16日のみ実施)。

観覧者数：8月16日 125人(一般93人、高校生3人、小中学生29人)

5 教育・普及修復

[1] 講座等

1. 夏休み子ども講座「勾玉を作ろう」

夏休みに、郷土資料などを活用して互理の歴史・文化を理解するとともに、もの作りの体験をとおして先人の知恵にふれて考える機会を作り、他校児童との交流をとおして仲間作りを進めることを目的とした講座を、町内小学校児童を対象に行った。受講生の募集については、小学校をとおして募集チラシを配付した。

日 時 8月20日(土) 午前10時～12時

会 場 郷土資料館 学習室

参加者 29人

材料費 100円

内 容 互理町に数多く存在する横穴墓や、そこから出土した刀や勾玉などの副葬品について講話を受けた後、実物資料を観察しながら実際に勾玉を作った。



▲勾玉を作る子どもたち

2. 年中行事講座「おひなさまを作ろう」

家庭で行われる年中行事にはそれぞれ意味があることをひなまつりを事例に伝え、年中行事に関わるもの作りをとおして、親子・家族のふれあいの機会を増やすとともに、年中行事および地域文化への関心を高める機会として行った。

日 時 平成29年2月25日(土)

午前9時30分～12時20分

場 所 郷土資料館 学習室、常設展示室

材料費 600円

参加者 32人

内 容 ひなまつりについて講話を受けた後、緞子で雛人形を製作した。製作後、開催中であったテーマ展「桃の節供と雛」を見学した。



▲完成した雛人形

3. 郷土資料館町民講座「ものしり大学院」

平成15年度に開始したこの事業は、毎回100人前後の聴講者のある人気の講座になっている。これまで「郷土の歴史」に着目し、さまざまな分野の講師を招いてきた。

28年度は、企画展「江戸清吉コレクション～近代文学・美術作品の宝蔵～」の開催に合わせ、江戸清吉コレクションの作家資料・美術資料について掘り下げる内容とした。

講座回数は1回とし、2人の講師と当館学芸員1人の計3人で江戸清吉コレクションの概要や研究成果などを発表した。

日時 平成28年10月22日(土) 午後1時00分～3時30分

会場 図書館視聴覚ホール(悠里館3階)

聴講者 70人

内容

①「江戸清吉コレクションの概要」

講師 亶理町教育委員会生涯学習課 学芸員 菅野達雄

概要

荒浜の江戸家や江戸清吉コレクションの概要について解説した。東日本大震災後の文化財レスキューから当館での保管に至るまでの経緯や現在の修復・保存状況、今後の課題について解説し、本講座の導入部分にあたる内容とした。



▲発表②の様子

②「江戸清吉コレクションの文学的価値」

講師 鹿児島大学法文学部人文学科 准教授 多田蔵人 氏

概要

原稿・はがきなどの資料から読み取れる文学的価値を紐解く内容とした。また、現在見つかっている国内の個人コレクションと比較し、江戸清吉コレクションがどのような位置づけをされており、どのような特殊性を持っているのかを解説した。



▲発表③の様子

③「江戸清吉コレクションの美術品～江戸清吉と小川千甕～」

講師 東北大学災害科学国際研究所 安田容子 氏

概要

江戸清吉コレクションの美術品、中でも小川千甕の作品に注目して解説した。さらに、清吉氏と著名人のはがきのやり取りからうかがえる江戸清吉コレクションの特徴について、美術史的な視点から読み解いた。

4. 夏休みどこでもパスポート利用促進事業「郷土資料館ちょこっと体験」

亶理町の歴史に関連した体験や普段は見るだけの展示品にふれることで、子どもたちの昔のくらしぶりや歴史に対する意欲・関心を向上させるとともに、「どこでもパスポート」の利用促進を目的として行った。

期間 平成28年7月21日(木)～8月23日(火)

会場 常設展示室



▲縄文をつけてみようコーナー

内容

◎展示室体験コーナー

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける。
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる。
- ③切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋の切り絵に挑戦。
- ④色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦。
- ⑤帳場に座ってみよう：展示資料の帳場に座る。
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る。
- ⑦回してみよう：展示資料のジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す。
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう：指定文化財などのパズルに挑戦。

〔2〕 学社融合推進事業

この事業は平成12年度から行っており、町内小学生を対象として、総合学習や社会科の中で亘理町の歴史・文化・伝統を伝え、実物資料に触れ、使用する体験によって、より一層の学習効果を上げながら収蔵資料の有効活用を図っている。

1. 出前講座「移動しりょうかん」

「昔のくらしと遊び」

実施校：5校（10クラス）

参加人数：309人



▲天秤棒を使った桶担ぎを体験する児童

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内 容
逢隈小学校 3年生 (3クラス)	1/26 (木)	9:30 ~12:15	家庭科室 廊下	101	<ul style="list-style-type: none"> ・体験する道具の説明。 ・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯・箱枕で寝てみる」をグループごとに体験した。 ・蓄音器とランプの紹介。
亘理小学校 3年生 (4クラス)	2/3 (金)	9:30 ~11:25	悠里館	151	<ul style="list-style-type: none"> ・「郷土資料館常設展示見学・各種資料（展示されている資料の中から選んで）解説」と「図書館・展望ホール見学をグループごとに行った。
長瀬小学校 3年生 (1クラス)	2/8 (水)	9:30 ~11:30	図工室 青空ホール	148	<ul style="list-style-type: none"> ・体験する道具の説明。 ・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「石臼を回してみよう・ろうそくの火つけ」をグループごとに体験した。

吉田小学校 3年生 (1クラス)	2/9 (木)	9:30 ~11:25	多目的室	14	<ul style="list-style-type: none"> ・体験する道具の説明 ・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「洗濯板を使った洗濯」「ろうそくに火をつけ手燭で運ぶ」をグループごとに体験した。 ・蓄音器やランプ、手回し洗濯機などの昔のくらしの道具の紹介。
高屋小学校 3年生 (1クラス)	2/10 (金)	9:30 ~11:25	図工室	8	<ul style="list-style-type: none"> ・体験する道具の説明 ・「炭火アイロンがけ」「天秤棒を使った桶担ぎ」「箱枕で寝てみる」「洗濯板を使った洗濯」「ろうそくに火をつけ手燭で運ぶ」を順番に体験した。

2. 「学芸員の派遣」

社会科「亘理用水」に関する学習会

実施校：2校（7クラス）

参加人数：234人



▲もっこを体験する児童

実施校	月日	時間	場所	参加人数	内容
逢隈小学校 4年生 (3クラス)	10/13 (木)	13:45 ~15:20	逢隈小学校 体育館	88	<ul style="list-style-type: none"> ・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土しよい箱)、ジャバラなど用水を作ったときの道具や農作業の道具を展示した。 ・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。
亘理小学校 4年生 (4クラス)	10/27 (木)	10:00 ~12:00	亘理小学校 体育館	146	<ul style="list-style-type: none"> ・「昔の農業用道具」コーナーを担当し、土を掘る道具(スコップ3種)、土砂を運ぶ道具(もっこ、土しよい箱)、ジャバラなど用水を作ったときの道具や農作業の道具を展示した。 ・写真パネルを用いて昔の米づくりと展示資料の説明を行い、児童に資料にふれさせ、機械化以前の苦労を推察させた。

3. 学校ミュージアム「しりょうかん移動展示」

◎逢隈小学校：民具室(平成15年8月リニューアル)の継続

◎荒浜小学校：民俗資料室平成26年9月1日再開

[3] ゴールデンウィーク特別開館事業

郷土資料館・図書館の利用促進を目的とし、ゴールデンウィーク期間中の祝日をすべて特別開館日とした。5月5日には、こどもの日を記念してイベントを開催した。

日 時 平成28年4月29日(金・昭和の日)～5月5日(木・こどもの日)

内 容

◎常設展示室内に体験コーナーを設置

- ①縄文をつけてみよう：粘土に縄文土器の模様をつける。
- ②土器にさわってみよう：収蔵資料の土器の破片にさわる。
- ③切り絵に挑戦してみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋の切り絵に挑戦。
- ④色をぬってみよう：しげざねくんと亘理伊達家家紋のぬり絵に挑戦。
- ⑤かぶとかざりを作ろう：折り紙でかぶとかざりを作る。
- ⑥ヒトリヌリに乗ってみよう：展示資料のヒトリヌリに乗る。
- ⑦回してみよう：展示資料のジャバラ、麦つぶし機、糸より機を回す。
- ⑧文化財パズルに挑戦しよう：指定文化財などのパズルに挑戦。

◎こどもの日記念無料観覧日

こどもの日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にはオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

◎おどろきマジックショー

日 時 5月5日(木・こどもの日)

1回目 10:00～10:30

2回目 11:00～11:30

会 場 視聴覚ホール(悠里館3階)

来場者 159人

内 容 プロマジシャンSHINYA氏がイリュージョンマジックを披露した。



▲マジックショーの様子

[4] 「オープンミュージアム」

亘理の歴史や文化についての普及と郷土資料館の利用促進を図るため、常設展示室と企画展示室を無料開放し、昔の道具を体験するコーナーを設けたほか、企画展示に関連した催しを行った。

日 時 平成28年11月3日(木・文化の日) 午前9時～午後4時30分

場 所 郷土資料館(常設展示室、エントランスホール、学習室)

観覧者数 230人(一般182人、小中学生48人)

内 容

◎郷土芸能演舞会

1階エントランスホールにおいて、亘理町指定無形民俗文化財の「牛袋法印神楽」と「亘理杵取り舞」をそれぞれの保存会が披露した。牛袋法印神楽は全12幕のうち「恵比寿舞」を、亘理杵取り舞は全10番のうち3・5・7番を演じ、その後、紅白餅まきを行った。また、同じく町の指定無形民俗文化財の「亘理獅子舞」の獅子装束を常設展示室に展示した。



▲郷土芸能演舞会

◎企画展示解説会

開催期間にあっていた企画展「江戸清吉コレクション～近代文学・美術作品の宝蔵～」について担当学芸員が解説した。

◎体験コーナー

各種体験コーナーを設置した。

- ①色をぬってみよう
- ②昔のマンガを読もう
- ③昔のテレビゲームに挑戦しよう
- ④亘理のいろはかるたで遊ぼう
- ⑤折り紙で作ろう



▲企画展示解説会

◎文化の日記念無料観覧日

文化の日を記念して観覧料を無料とし、先着100人の観覧者にオリジナルの缶バッジをプレゼントした。

[5] 学校教育関連

1. 文化財めぐり

町教育委員会が、町の歴史への理解を深め、文化財保護意識の高揚を図るために実施した。町内の文化財と郷土資料館を小学6年生（11クラス306人）と教職員17人が資料館職員の解説を聞きながら見学した。

学 校 名	学級数	見学人数	見 学 日
亘理小学校	4	130	5月26日、27日、6月2日、3日
荒浜小学校	1	21	6月8日
吉田小学校	1	23	6月16日
長瀬小学校	1	33	5月2日
逢隈小学校	3	102	5月26日、27日、6月1日
高屋小学校	1	14	6月9日

2. 社会見学等

遠足や教育課程に基づく学習活動の一環として、小学校児童が常設展や企画展などの見学や収蔵資料の使用体験、中学校生徒が調べもの学習のため来館した。また、姉妹都市交流の一環として、北海道伊達市の中学生が来館した。

来館日	来館者	来館者数	来館目的
8.5	県内中高生、北海道伊達市中学生	28	姉妹・友好都市シニアリーダー研修・交流会の一環
9.13	仙台市立郡山中学校	204	2年生の校外学習
9.15	北海道伊達市立東小学校	30	姉妹校交流事業の一環
9.28	荒浜小学校	19	3年生の校外学習
10.27	名取市立閑上中学校	3	1年生の自主研修
11.11	名取市立館腰小学校	59	2年生の校外学習
11.16	吉田中学校	3	1年生の総合学習
2.9	宮城教育大附属特別支援学校	9	校外学習
3.22	県立支援学校岩沼高等学園	7	校外学習

[6] 刊行物等

『郷土しりょうかん』第128号～第133号

広報紙としてA4判4ページ（A3判二つ折）を偶数月に発行。

[7] 博物館実習

学芸員資格取得希望者のため、博物館の実務実習生を受け入れた。

実習期間 8月18日(木)～25日(木)の6日間

(21、22日を除く)

実習生 宮城学院女子大学学芸学部日本文学科3年生1人

実習内容 第1日：ガイダンス、施設の概要説明、資料の保管について(講話・作業)

第2日：庶務管理および運営について(講話)、施設見学、資料の保管(作業)、カウンター業務、教育普及について(講話・作業)

第3日：教育普及活動の実際(夏休み子ども講座の運営補助)、文化財保護行政について(講話)、町内文化財めぐり

第4日：埋蔵文化財について(講話・作業)

第5日：資料の取扱いについて(講話、作業)

第6日：企画展示について(講話・作業)、実習のまとめ



▲実習生によるミニ企画展

[8] その他

1. 講師派遣

- ◆亶理郷土史研究会亶理・吉田合同地区懇談会
5月20日(金) 亶理町中央公民館 視聴覚室
講師：班長 菅野達雄
「伊達成実の生涯と亶理」の講話
- ◆下茨田南区会「ここにこカフェ 七夕会」
7月28日(木) 下茨田南集会所
講師：副班長 武田恵美
七夕飾りの製作指導
- ◆仙台郷土研究会 公開講演会
11月29日(火) 仙台市戦災復興記念館
講師：班長 菅野達雄
「江戸清吉コレクション」の講話
- ◆宮城県被災文化財等保全連絡会議公開シンポジウム
平成29年3月20日(月) 東北歴史博物館
講師：班長 菅野達雄
パネルディスカッションへの出演

ほか文化財見学案内多数

2. 視察研修等の受入れ

- ◆平成28年度新規採用職員施設見学
7月20日(水) 15人
- ◆北斗市商工会役員研修視察
10月25日(火) 20人
- ◆柴田町文化財保護委員会委員研修
11月24日(木) 6人
- ◆松島町婦人防火クラブ視察研修
平成29年2月23日(木) 45人

6 資料の収集・保管

〔1〕 収蔵資料

1. 資料内訳

資料点数の（ ）内の数字は平成28年度新規収蔵資料

(1) 考古資料 116(1)点

常設展示展示資料：114点

※ このほか、町内各遺跡からの出土資料を保管しているが整理中であり、教育委員会所蔵であることから、上記点数のみ記載した。

(2) 歴史民俗資料 4,603(45)品目 12,720(79)点

開館以前(平成5年度まで)の収集資料：1,030品目 1,782点

開館以後(平成6～28年度)の収蔵資料：3,573品目 10,938点

≪平成6～28年度収蔵資料分類内訳≫

分類項目	点数	分類項目	点数	分類項目	点数
1 衣・食・住	1,534	7 民俗知識	1,654	12 亙理伊達家・家中	136
2 生産・生業	824	8-1 民俗芸能	9	13 軍事・戦争	367
3 交通・運輸・通信	341	8-2 競技・娯楽・遊戯	1,364	14 文書・書籍・地図	961
4 交易	1,942	9 人の一生	113	15 美術	700
5 社会生活	699	10 年中行事	134	16 その他	59
6 信仰	99	11 口承伝承	2		

(3) 写真・映像等資料 545(4)品目 1,140(8)点

写真：492(4)品目830(8)点 映像・音声：14品目268点 絵・図：39品目42点

(4) その他(化石など) 9品目83点

1. 寄贈資料

11人 44品目 87点

No.	寄贈者名	地区	主な資料名	品目	点数
1	阿部正子	亙理町(駅前東)	携帯カイロ、飯櫃 ほか	19	26
2	今村善一	亙理町(駅前西)	水筒、ゲートル ほか	4	5
3	片岡義隆	亙理町(開墾場)	柄鏡	1	1
4	門澤正巳	亙理町(中町北)	雛人形飾り ほか	7	37
5	小松 明	亙理町(駅前西)	新庁舎落成記念写真 ほか	4	8
6	佐藤愛雄	亙理町(南町南)	DVD「亙理町巡り1・2」	2	2
7	高倉豊	亙理町(南城東)	荒浜郵便区全図	1	1
8	武田和雄	亙理町(南城東)	竹籠花入 ほか	2	3
9	高橋五郎	亙理町(祝田西)	石斧	1	1
10	吉岡 一男	仙台市	亙理町役場関係書類	1	1式
11	渡辺重寿	亙理町(浜吉田北)	雛人形ケース飾り ほか	2	2

〔2〕 寄託資料

「亙理忠儀記」(亙理町指定文化財)	上町 菊地家 所蔵
船鑑札・漁業鑑札	荒浜 島田家 所蔵
伊達政宗書状(伊達宗実あて)ほか 2点	武田斐子 氏 所蔵
額入資料3点・木箱資料32点・袋入資料78点	岡元継男 氏 所蔵
脇差1点・刀1点	東條勝雄 氏 所蔵
刀2点	武者 司 氏 所蔵
幣帛覚帳3点・取子人名記1点	陰山俊明 氏 所蔵
享保雛1対・脚付膳2点ほか 41点	山形正志 氏 所蔵
武者家勤功書上(亙理町指定文化財)ほか 327点	武者宗悦 氏 所蔵
近世年代早見記(清野日記)	清野武司 氏 所蔵

〔3〕 常設展示借用資料

No.	資料名	所有者名	数量	借用期間	借用理由
1	志賀家文書	志賀道義	378	H5.7.18～	亙理伊達家コーナー展示、調査研究

〔4〕 資料貸出

6件19点

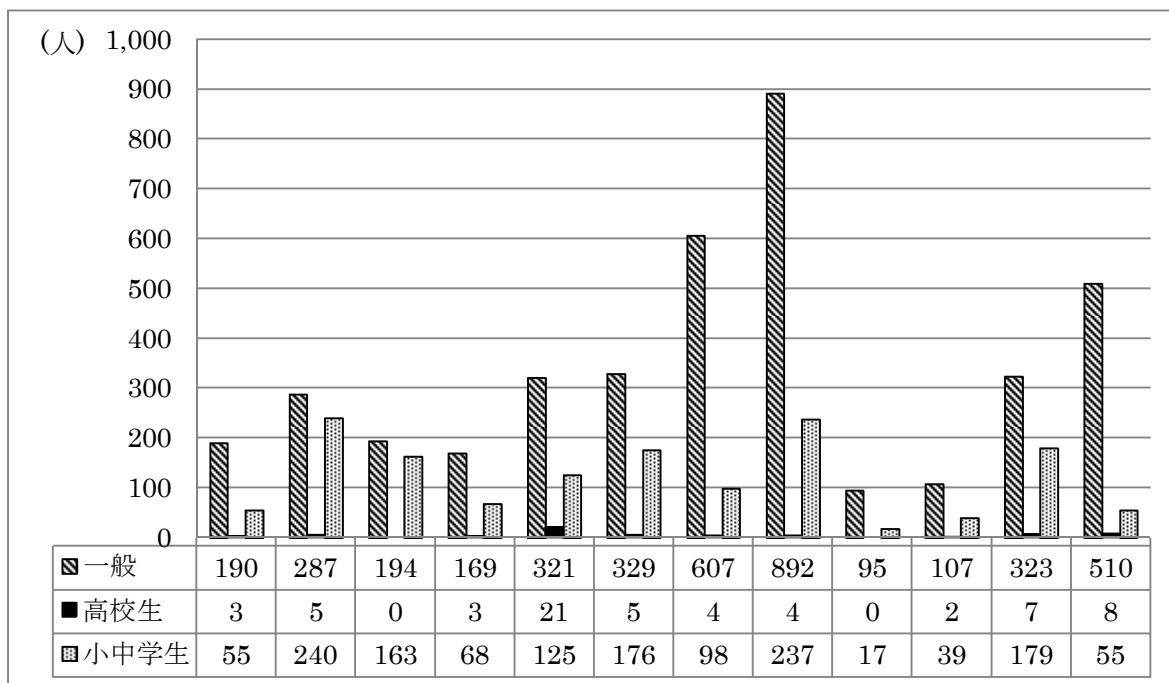
No.	貸出先	目的	資料名	貸出日・期間
1	高屋小学校	社会科学学習指導のため	弥生土器片 ほか13点消耗品	4.23～26
2	亙理保育所	稲の脱穀のため	足踏脱穀機 1点	10.13～14
3	福島県南相馬市 教育委員会	原町市第1巻『通史編 I』への掲載のため	逢隈湊付近の写真 1点	11.25
4	朝日新聞仙台総局	紙面への掲載のため	夏目漱石原稿「文鳥」写真 ほか2点	9.28
5	時代考証学会	大石学・時代考証学会編 『伊達政宗と時代劇メ ディア』への掲載のため	伊達成実木像写真 1点	9.15
6	株式会社ファミリー マガジン	ビジュアル歴史人物事 典『超ビジュアルで学 ぶ!戦国武将150』へ の掲載のため	伊達成実木像写真 1点	5.17

7 観覧者数の推移

〔1〕 平成28年度月別観覧者数

総観覧者数：5,538人

一般：4,024人 高校生：62人 小中学生：1,452人

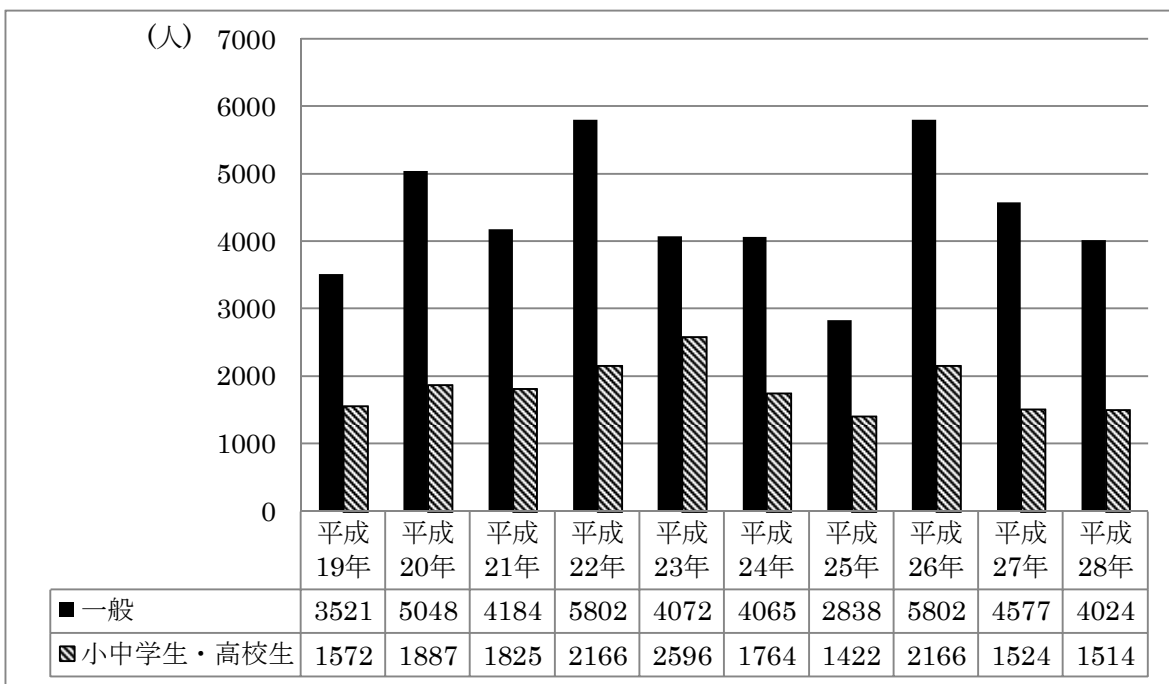


〔2〕 年度別観覧者数

総観覧者数：179,487人

一般：131,559人 小中学生・高校生：47,928人

平成19年度～平成28年度観覧者数の推移



8 予算

郷土資料館費

予算額 7,189,000 円

※ 複合施設のため人件費、管理費等は含まれていません。

9 職員名簿

【平成28年4月1日～平成29年3月31日】

職名	氏名	就任期間	備考
館長	穴戸由美	H27. 4.1 ~ H29.3.31	町立図書館長兼務
文化財班長	菅野達雄	H 6. 4.1 ~ H29.3.31	学芸員
副班長	鈴木朋子	H18. 4.1 ~ H29.3.31	学芸員
副班長	武田恵美	H24. 4.1 ~ H29.3.31	学芸員
主事	佐藤凱	H27. 4.1 ~ H29.3.31	

10 利用案内

〔1〕 開館時間

午前9時から午後4時30分まで（入館は午後4時まで）

〔2〕 休館日

- ・毎週月曜日
- ・国民の祝日（一部特別開館日を除く）
- ・館内整理日（毎月最終金曜日）
- ・年末年始（12月28日～1月4日）

〔3〕 観覧料

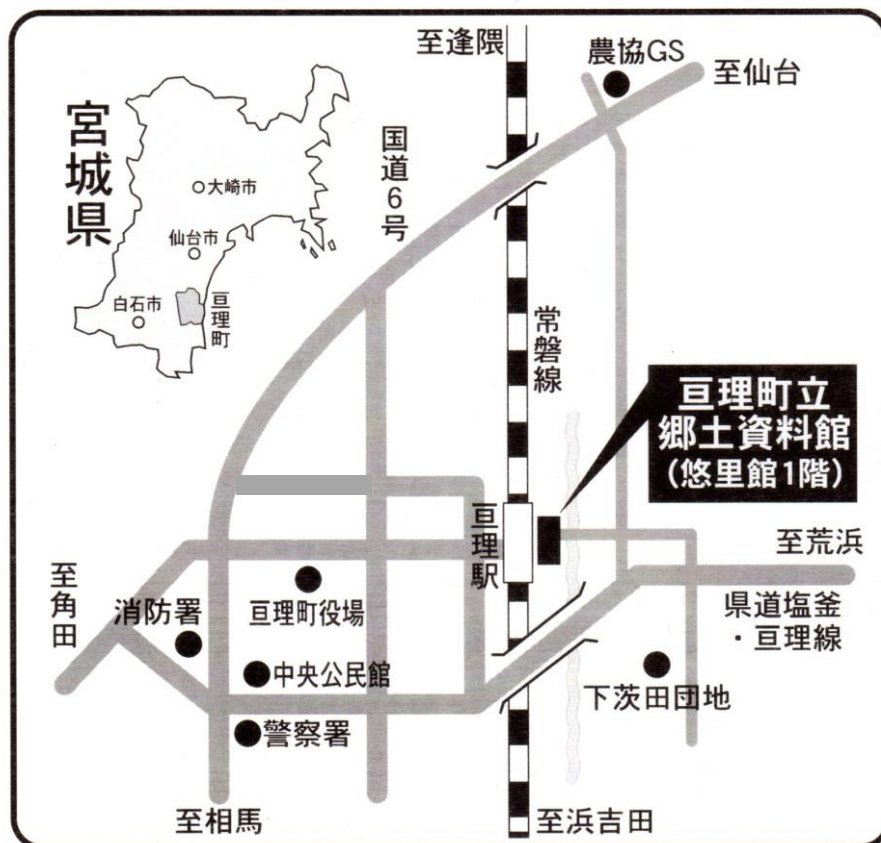
- ・常設展示 一般200円(150円)／高校生100円(70円)／小中学生50円(30円)
※()内は団体20人以上の場合
- ・特別展示等 1,000円以内でそのつど定めた額

〔4〕 無料開放日

- ・5月5日(こどもの日)
- ・8月16日(伊達成実霊屋御開帳記念)

- ・ 11月3日(文化の日)
- ・ 3月3日(ひなまつり・休館日の場合は前日)
- ・ 仙台都市圏内の小中学生は通年無料
- ・ 仙南地域・石巻・大崎・気仙沼本吉地域広域圏内の小中学生は、毎週土曜日・日曜日・春休み・夏休み・冬休みの期間中無料

〔5〕 位置図



亶理町立郷土資料館年報 第19号
平成28年度

平成29年8月発行

編集・発行 亶理町立郷土資料館
〒989-2351 宮城県亶理郡亶理町字西郷140番地
TEL (0223) 34-8701
FAX (0223) 34-8709
E-mail kyoudo@town.watari.miyagi.jp
